



ケンブンスイッチ

5月号



シブヤから、日本全国へ！ 広がる「ご当地フォント」の世界

2016年に渋谷区の事業として、障がいのある人とデザインを学ぶ学生との共創で生まれた「シブヤフォント」。データ利用料の一部を福祉還元する社会性に加えて、フォントやパターンといった誰にでも使いやすいデータという特性もあいまって、100社以上の企業に採用され、数多のデザインアワードを受賞するなど、大きな社会的インパクトをもたらしています。

この動きは全国へと広がり、日本各地の障がいのある人・障がい者支援事業所・デザイナーが協働して「ご当地フォント」の創作に取り組み、2025年4月現在、22のご当地フォントが公開されています。

研文社は2022年より「シブヤフォント」「ご当地フォント」に注目。自社のノベルティ・グッズなどに取り入れるとともに、多様性や包括性への共感を示せるデザインアイテムとして、お客さまへの提案にも取り入れてきました。ご興味のある方は、研文社までお気軽にお問い合わせください。

研文社ノベルティ・グッズサイト

<https://www.kenbunsya.jp/service/novelty-goods/>



研文社の環境配慮型カレンダーのデザイン例。
ご当地フォントより、シブヤフォントの「森フォント」
を年月のタイトルに、なにわふおんとのパターン
「モザイク・スクエア」を表紙と各月の地紋に使用。



SHIBUYA
FONT



GOTOUCHI
FONT